

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成24年9月号

編 集
発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町9-15
一般社団法人 日本病院会 通信教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00

(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(送料共)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

一般社団法人 日本病院会 通信教育部

も・う・こ・り・た

川合 省三

医療法人さくら会 さくら会病院副院長
大阪会場 基礎課程(医療概論)講師

ここ数年のわが国の政治的混迷をみると、民主主義とは何なのか、考えさせられる。特に大阪の住民として、民意、ポピュリズムの長所と問題点を感じる。どうも自らの利のために活動しているように見える。

何が正義なのか、やがて歴史が明らかにするのでしょうか、その判断の基準になる言葉に「もうこりた(忘己利他)」がある。「己れを忘れて他を利するは、慈悲の極みなり」は仏教の根本思想を言い表したことばである。

幼少時より食事どきに手を合わせピンチの時など折に触れては仏前に合掌するという、年齢的にはごく平凡な仏教徒にとって、心の支えになっている。医師に限らず、診療情報管理士を初め医療に携わる人にとっての心構えのようにも思う。

この忘己利他のわかりやすい例えとして、ある宗教学者はタクシー運転手の話をあげている。ワンメーターの客を拒否する運転手がいる中で、その運転手はむしろ近距離客を歓迎するという。そうするとワンメーターで降りた客の場所で長距離客を拾えることがある。これも仏さまのはからいかもしれぬという。「脳外科医(筆者の本職)は患者さんを選べない」に通じるのです。

もっと忘己利他を実践しているヒーローが身近にいる。わが二歳半の孫娘も大好きなアンパンマンである。このヒーローの生みの親である93歳の絵本作家やなせたかし氏という。アンパンマンは自分の顔をちぎって人に食べさせる。本人も傷つくが、それによって人を助ける。そういう捨て身、献身の心なくしては正義は行えない、と。

忘己利他とはアンパンマン精神なのである。強いスーパーマンより、弱きを助けるアンパンマンの方が面白くて魅力的ではないか。「正義でいばっているやつは嘘くさい」とつぶやき、ひとを助けてもいばらないで、ひとを喜ばせるのがうれしいというアンパンマン。

長い人生では、一回や二回は地獄を通過した方がかえっていい、仕事は何でも引き受けてみるといい、のろまでも鈍重でもゆっくり走ればいい、と励ますアンパンマン。

時には辛いこともある、通教の2年間を、この忘己利他とアンパンマン精神で乗り切ってほしい。診療情報学を学び教える筆者の周辺にも、このスピリットを持った、素晴らしきリーダーや仲間がいて心強い。

これから老いていくにつれ、スーパーマンになれなくてもアンパンマンにはなれそうだ。アンパンマンのいうように、小器であっても晩成できるように、通教生とともに学びたいと思う。ただし、忘己利他を実行する余り、「もうこ(懲)りた。コリゴリ」と決して諦めることのないように。

